

Queer Visions in East Asia

2020

10/30

13:00~18:10 (12:30 開場)

Queer Visions in Cinema

「クィア・シネマとは何か」

菅野優香 同志社大学大学院 グローバル・スタディーズ
研究科准教授

〈対談者〉

シモーヌ深雪 シャンソン歌手
DRAG QUEEN

Queer Visions in Shinjuku

「街場論『新宿二丁目』

歴史に観る Queer Visions」

伏見憲明 街場論『新宿二丁目』著者、
ゲイバー「A Day in the Life」経営者

〈対談者〉ミツヨ・ワダ・マルシアーノ

Queer Visions Online

「インターネット性差別CMは
なぜ炎上したのか？」

上野千鶴子 東京大学名誉教授
日本のフェミニズムの先駆者

〈対談者〉

河口和也 社会学/ゲイ研究
広島修道大学人文学部教授

オープン・ディスカッション

参加者：菅野優香 / シモーヌ深雪 /
伏見憲明 / 上野千鶴子 / 河口和也

司会 / 座長 ミツヨ・ワダ・マルシアーノ
京都大学大学院文学研究科教授

会場

京都大学

国際科学イノベーション棟
5階シンポジウムホール

オンライン参加も実施！ 参加申し込み方法は裏面をご覧ください。

参加
無料

申込先着順

アジア人文学からクィアを考える Queer Visions in East Asia

人社未来形発信ユニット | 第4回全学シンポジウム

重層的、多義的、流動的であるアイデンティティの多様性を引き受ける社会とは？「ジェンダー」という枠組みに閉ざされた視点から抜け出し、「性別」「障害」「思想」などあらゆる差異による少数派の立ち位置を変えるための視点「Queer Visions」。研究者、文化批評家、フェミニストたちが築きあげてきた理論や警告を、Queer Visions はどのように継承できるだろうか？



同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科准教授

菅野優香 Yuka Kanno

同志社大学グローバル・スタディーズ研究科、アメリカ研究クラスター准教授。『思想』(1151, 2020年3月)に掲載された論考「政治的なことは映画のなこと—1970年代の『フェミニスト映画運動』」や共著「クィア・スタディーズをひらく」(見洋書房、2019年)等、フェミニスト映画理論およびクィア理論に関する多くの出版がある。

著書紹介



クィア・スタディーズをひらく
見洋書房 / 2019年



作家・ゲイバー経営

伏見憲明 Noriaki Fushimi

1963年生まれ。1991年『プライベート・ゲイ・ライフ』(学陽書房)でデビュー&カミングアウト。著書に『魔女の息子』(第40回文藝賞)、『団地の女学生』、『欲望問題』…など著書多数。最新刊は『新宿二丁目』(新潮新書)。

著書紹介



新宿二丁目
新潮社 / 2020年



百年の憂鬱
ポット出版 / 2012年



社会学者・東京大学名誉教授・
認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長

上野千鶴子 Chizuko Ueno

富山県生まれ。京都大学大学院社会学博士課程修了。1993年東京大学文学部助教授(社会学)、1995年から2011年3月まで、東京大学大学院人文社会系研究科教授。2012年度から2016年度まで、立命館大学特別招聘教授。2011年4月から認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長。専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のバイオニアであり、指導的な理論家のひとり。高齢者の介護とケアも研究テーマとしている。

著書紹介



女ざらい
ニッポンのミソジニー
朝日文庫 / 2019年

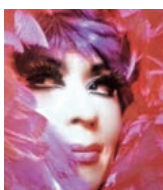


〈おんな〉の思想
集英社文庫 / 2016年



発情装置 新版
岩波現代文庫 / 2015年

対談者 (オープンディスカッション参加者)



シャンソン歌手 / Drag Queen

シモーヌ深雪 Simone Fukayuki

1988年デビュー。全国のライブハウスやクラブなどでパフォーマンスを展開。怪奇と官能をこよなく愛し、「愛の不毛あるいはエログロナンセンス」を座右の銘とする、日本のアンダーグラウンドシーンを代表するパフォーマーのひとり。毎月末に“DIAMONDS ARE FOREVER@METRO”を開催



広島修道大学人文学部教授

河口和也 Kazuya Kawaguchi

専門領域は、セクシュアリティ研究、ゲイ研究、クィア研究。著書は、『クィア・スタディーズ』(単著 岩波書店)、『同性愛と異性愛』(共著 岩波書店)、『ゲイ・スタディーズ』(共著 青土社)など。



京都大学大学院 文学研究科教授

ミツヨ・ワダ・マルシアーノ Mitsuyo Wada-Marciano

専門領域は映画・メディア研究。著書は『ニッポン・モダン』(単著)『デジタル時代の日本映画』(単著)『「戦後」日本映画論』(編著)『Horror to the Extreme』(編著)『(ポスト)3.11』メディア言説再考』(編著)など。

参加
無料

参加申し込み方法

会場参加・オンライン参加は
右記QRコードより事前
にお申し込みください。



お申し込みフォームへ>>

詳しくはユニットHPをご覧ください。

<https://ukihss.cpi.kyoto-u.ac.jp/2253/>

- 会場・オンラインともご参加申込みの受付は、先着順で定員に達し次第締め切らせていただきます
- 本シンポジウムは新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、会場参加を中止しWEB参加のみの開催とする場合がございます。予めご了承ください。

